

5 - 3 1985年12月20日駿河湾中部の地震

The Earthquake in Central Suruga Bay, December 20, 1985

国立防災科学技術センター
National Research Center for Disaster Prevention

1985年12月20日20時41分、駿河湾中部にM 3.5の地震が発生した。震源要素は、

震源時：20時41分23.4秒

震源：34.808 N, 138.470 E, 深さ21.0 km

である。防災センターの観測網では、その後の10日間で6個の余震を観測している。

第1図に、駿河湾を囲む地域での約6年間にわたる地震観測結果を示す。ただし60 km以浅の地震だけをプロットし、時空間分布図では、さらに震央分布図から太枠で囲んだデータだけを抜き出した。この範囲で観測されたM 3.5以上の地震は、図に示したA（2個）、B、C（今回の地震）の4個である。鵜川¹⁾が指摘したように、Aの地震に伴って、その南側の駿河トラフ沿いには活動の活発化がみられる。他方、B、Cについては、それに伴う顕著な活動変化は見られない。ただ、A - B間（1984年頃）で、同トラフ沿いの活動が若干低下していたようにも見受けられる。

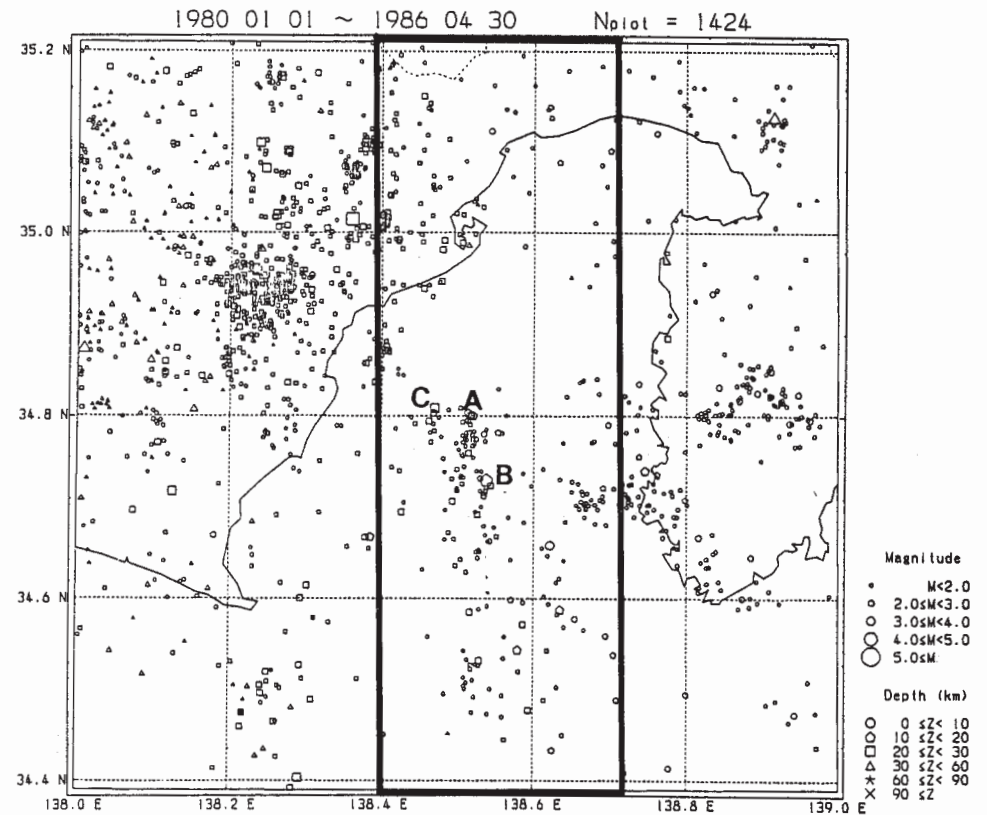
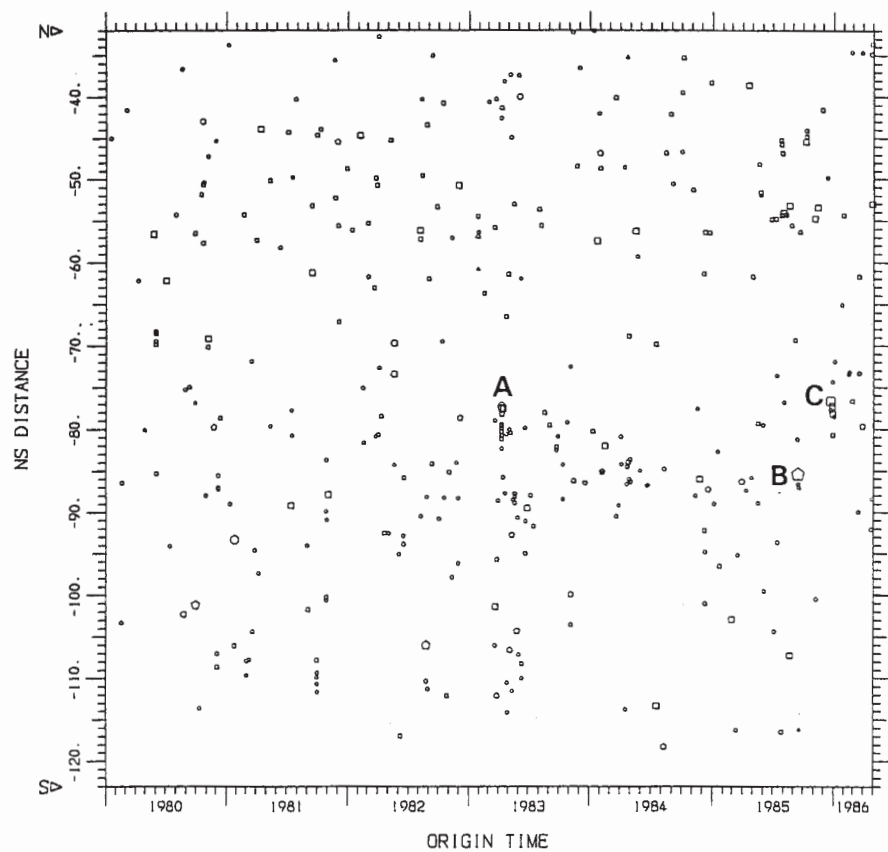
第2図には、断面図、および代表地震3個の発震機構解（A、Bについては鵜川による）を示す。余震を含めたA、B、Cの震源分布は、それぞれのクラスターに分離され、数kmずつを隔てて略南北に並ぶ列状配置を呈している。

発震機構解から得られる圧縮軸の方位は、A、B、C共、北東 - 南西、ないしは北北東 - 南南西の範囲であるが、Bのみが逆断層型の解を与えている。

（松村 正三）

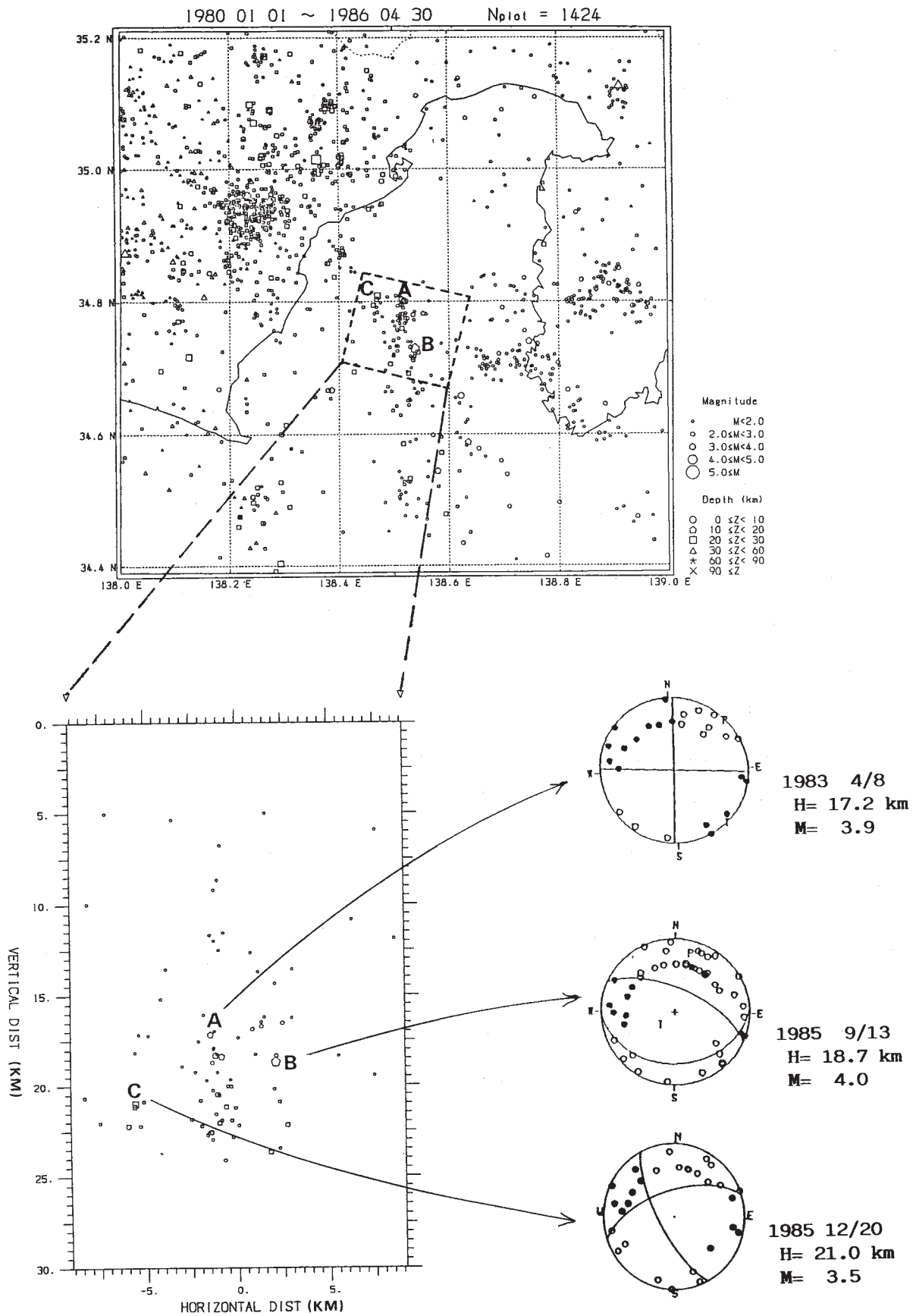
参 考 文 献

- 1) 国立防災科学技術センター：1985年9月13日駿河湾中部の地震，連絡会報，**35**（1986），287 - 290.



第1図 駿河湾周辺の震央分布図(60 km以浅)と太枠内データの時空間分布図。今回の地震(1985年12月20日)は図のCで示されている。

Fig. 1 Hypocenter distribution of the earthquakes shallower than 60 km in the period from January, 1980 to April, 1986 determined by NRCDP. Those data surrounded by the rectangle on the epicenter map are plotted on the space-time plots. The earthquake occurred on December 20, 1985 is marked with 'C'.



第2図 M 3.5以上の地震 (A, B, C)を囲む破線領域の断面図, 及び代表地震の発震機構解 (A, Bは, 鶺川による)

Fig. 2 Cross section of the earthquakes surrounded by the broken line on the epicenter map, and focal mechanisms of the representative three main earthquakes.